

令和 7年度予算見積調書(2月補正予算)

課室名: 財務課
 担当名: 財産管理担当・施設整備担当
 内線: 6646 (単位: 千円)

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業	
P4	県立学校体育館整備費			一般会計	教育費	教育総務費	教育財産管理費	県立学校体育館整備費	
事業期間	昭和58年度～	根拠法令	なし			針路	05 未来を創る子供たちの育成	SDGsゴール	4, 13
						分野施策	0504 質の高い学校教育の推進	SDGsターゲット	4-5, 4-a, 13-1
1 事業概要	建築後長期間経過し老朽化の激しい県立学校の体育館について、計画的に改修工事を実施し、建物の長寿命化と学習環境の整備を図る。 次に、近隣に空調設備が整備された避難所が無い防災拠点校に体育館空調設備を設置する。 ア 体育館整備費 △455,300千円 イ 体育館空調整備 △273,059千円			5 事業説明 (1) 事業内容 ア 体育館整備費 改修設計、改修工事 3,844,803千円→3,389,503千円 イ 防災拠点校体育館空調整備 設計、工事 2,735,394千円→2,462,335千円 (2) 事業計画 ア 老朽化が進んでいる体育館について、改修工事を実施する。 改修設計 9校 11棟 改修工事 10校 10棟 イ 防災拠点校に体育館空調設置工事を実施する。 防災拠点校体育館空調整備設計 22校、工事 17校 (3) 事業効果 児童・生徒の安全の確保、建物の長寿命化と維持修繕の低減、災害時避難民に快適な環境の提供 【活動指標(アウトプット)】 大規模改修設計工事の実施 防災拠点校の体育館への空調設備の整備設計・工事の実施 【成果指標(アウトカム)】 50年～65年建替えモデルとの比較における、令和2年度から30年間の維持・更新コストの圧縮 大規模災害発生時の長期の避難生活においても、熱中症等の不安を払拭した安心・安全な環境となる。					
2 事業主体及び負担区分 (県10/10)									
3 地方財政措置の状況 公共施設等適正管理推進事業債(長寿命化事業) 充当率 90% 交付税措置 33.5% 緊急防災・減災事業債 充当率100% 交付税措置70%	(4) 補正予算の概要 委託料及び工事請負費が見込みを下回ったこと等による減額								
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 9,500千円×1.5人=14,250千円									
予算額		財 源 内 訳						一般財源	補正後の 予算額
		県 債							
決定額	△728,359	△721,000						△7,359	5,851,838
現計額	6,580,197	6,471,000						109,197	

事業内訳書

事業名	県立学校体育館整備費		
単位事業名	体育館整備費	予算額	△ 455,300千円

○歳入

(単位：千円)

款・節	補正予算額	対前年度増減額	主な内容
県債・教育債	△448,000	—	県立高等学校建設事業債 県立特別支援学校建設事業債
一般財源	△7,300	—	
合計	△455,300	—	

○歳出

(単位：千円)

節	補正予算額	対前年度増減額	主な内容
旅費	△116	—	節約等による普通旅費の減
需用費	△1,623	—	節約等による消耗品費、燃料費、印刷製本費の減
役務費	△5,841	—	節約等による通信運搬費の減
委託料	△33,721	—	見込みを下回ったことによる設計費の減
工事請負費	△413,999	—	見込みを下回ったことによる工事費の減

単位事業名	体育館整備費	予算額	△ 455,300千円
-------	--------	-----	-------------

(単位：千円)

節	補正予算額	対前年度増減額	主な内容
合計	△455,300	—	

単位事業名	体育館空調整備	予算額	△ 273,059千円
-------	---------	-----	-------------

○歳入 (単位：千円)

款・節	補正予算額	対前年度増減額	主な内容
県債・教育債	△273,000	—	県立高等学校建設事業債
一般財源	△59	—	
合計	△273,059	—	

○歳出 (単位：千円)

節	補正予算額	対前年度増減額	主な内容
旅費	△174	—	節約等による普通旅費の減
需用費	△107	—	節約等による消耗品費、燃料費、印刷製本費の減

単位事業名	体育館空調整備	予算額	△ 273,059千円
-------	---------	-----	-------------

(単位：千円)

節	補正予算額	対前年度増減額	主な内容
役務費	△12	—	節約等による通信運搬費の減
委託料	△40,804	—	見込みを下回ったことによる設計費の減
工事請負費	△231,962	—	見込みを下回ったことによる工事費の減
合計	△273,059	—	